滿洲日報

○報價目
毎月收取八角代價所及送報人並無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五、登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

特別廣告

告示
一本年二月より六月に至る牛營間土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尚納付せざるものは其土地の貸下を廢除す
明治三十九年六月二十六日
營口軍政官　與倉喜平

公告
電話交換手募集
當局電話交換手を募集す志願の者は（滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業若しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る）志願書に自筆の履歴書を添へ携帯出願すへし
明治三十九年六月
營口軍政署電話局

日本郵船株式會社
滊船出帆廣告
竹島丸　十三日　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸
横濱丸　十八日出帆　司門神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社
營口滊船出帆廣告
能登丸　七月八日　門司行
潮州丸　十二日　入港
代理店　ブッシュ兄弟商會　東營口公園地横　遼來洋行（電話二十三番）

滊船出帆廣告
鷹取丸　七月八日　門司行
万成源丸　龍口登州府定期
中國丸　仝
松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話（五二 五七）

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
横濱正金銀行牛莊出張所
本店　横濱　支店出張所　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　香港　上海　漢口　天津　北京　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺　安東縣
（電話十番　支配人室）（電話八番　事務室）

正隆銀行
營業項目
一定期預金（長期存欵）三ケ月　五分　六ケ月按年五分五厘　一ケ年　六分
一當座預金（暫存欵）按年四分五厘
一小口當座預金（零碎暫存款）按年五分一厘　日步一錢四厘
一貸附金（放利）
一、送金爲換（匯兌）取組先　東京　横濱　大阪　神戸　長崎　天津　上海
一、附帶之業務　一般財產並に土地建物の管理を引受くると不動產抵當貸附金の委託を受引くると
○本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第一百三十號（電話二百十番）
支配人　深水十八

宅洋行
啓者敝行專賣棉紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貨客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳倘可商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧是幸之至
開設老爺閣街同盛德院内
總司理人　田中稻之助謹白
電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉花布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣招接裝運事宜營口東南處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡船輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜倘有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是幸
總司理人　王亮卿謹白

東永茂
本號設在營口創辦油榨生意多年以本營業兼辦倍通房壹號及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事　翟玉田　副理事　金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
專營各國火輪船生意兼賣各制洋什貨煤石等件
營口西大廟街路北營乙第十三號

志岐組
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許揀選各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明價照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東　西義順棧內（電話九十五番）（電話九十八番）

營口 承文信記書坊
現在西大街粤東會館南邊裡內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙士商賜顧者價照批發格外克已不悞
本號主人謹白

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被而各色布疋各種綢布其他一切織物概行爲賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二号）

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙王鹿芹朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽磋商聽氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　貴商所樂聞乎如蒙　賜顧請逕至大德亨內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已　請公賜顧請　駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

發行所　淸國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

Rates for Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office, Newchwang.
Telephone No. 29.

飯塚工程局材料部
營口元神廟前（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

志岐組
木料棧　材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

周
鐵道 遼河 裕和盛運輸局
（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱鱗太郎　謹啓

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷
營口西北街（電話十八號）
既設分局　牛家屯車站（電話四十六號）　遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥 軍刀販賣業
本行蒙官准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈雜物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商　武田洋行
營口元神廟街第十號

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街
第五號　門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口永世街
森醫院
院長醫學得業士　森　矯
齒科部
主任齒科醫士　兒島市郎
啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之溢濁面貌爲之失形況疾患權於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀輾轉反側主爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奥巧技入神齲齒凹窩則須熱去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或藍齒頭以金冠或欲人義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不變有齒患奕然中國醫界之風潮尚未發達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇摯其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

遼河 鐵道 運輸 同濟公司
本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請來本號面議特仰週知
營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

東京電報 (七月七日發電)

●師團長の大更迭 既電の如く全國各師團長に大更迭を行はる其異動左の如し

近衛師團長 陸軍大將 大島久直
第二師團長 陸軍中將 松永正敏
第三師團長 陸軍中將 大久保春野
第四師團長 陸軍中將 井上光
第六師團長 陸軍中將 西島助義
第七師團長 陸軍中將 上田有澤
第八師團長 陸軍中將 渡邊章
第九師團長 陸軍中將 塚本勝嘉
第十一師團長 陸軍中將 土屋光春
第十二師團長 陸軍中將 淺田信興
第十三師團長 陸軍中將 岡崎生三
第十四師團長 陸軍中將 鮫島重雄
第十五師團長 陸軍中將 平佐良藏

右と同時に大迫立見兩大將及び原口中將は休職仰付けられたり

雜報

●第二の日露戰爭

露國は第二の日露の戰爭に於て成功せんとて軍備の補充に汲々たるは蔽ふ可からざる事實なるのみならす嚮には「レンネンカンプ」將軍の露都の宴席にて露國の復仇遠きに非らざるを放言せるあり今又伯林のローカルアンツァイグルは露國のバスチェノウ將軍の談話なりとて大に注目す可き左の記事を掲載せり其一節に曰く

第二の日露戰爭は延期するとも六年を超えさる可し日本人は露國か新軍隊を集中せんとする千九百二十五年迄恐らく待たさる可し日本は極力英國の力を利用し太平洋岸に於ける露國の勢力を飽く迄挫折せしめ滿洲及び朝鮮にて得たる自國の勢力を維持せんとするに努む可し故にポーツマスの平和條約は單に長期の休戰に外ならす而して露國は其休戰期終るや二國を相手に戰はさる可からす露國は少くとも三分の二の軍隊を極東に止め以て極東に尚ほ根據地を有することを知らしめさる可からす又露國は日本の抗議ありとも極東に於ける勢力を強め浦港にも有力なる艦隊を備へ又急遽造船會社に注文をなして可能的迅速に海軍を再興せよ又西比亞線は烏蘇里線と共に終點迄復線を布設しカムチヤツカと電線の連絡を保たさる可らす第二の日露戰爭は切迫せり若し今にして準備せすんは敵國はバイカル以西に吾人を追ふならん

●統監の職權 韓國に關する事項にして法律の規定に依り內國官憲の管掌に屬するものは勅令を以て之を統監の職權に屬せしむることを得るの件は去る二十七日法律第五十七號を以て公布せられ同時に勅令第百六十七號を以て其統監の職權に屬せしむる件を左の如く制定公布せられたり

居留民團法、淸國及朝鮮在留帝國臣民取締法、戶籍法、在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法、外國領海水產組合法 郵便法、電信法及電信線電話線建設條例中各省大臣の管掌に屬する事項にして韓國に關するものは統監之を行ふ

附則本令は明治三十九年法律第五十七號施行の日より之を施行す

●滿鐵設立委員 南滿洲鐵道會社設立委員は目下人選中なるか既に內定したる重なる顏觸は左の如し

委員長 兒玉參謀總長▲委員 若槻、石本、仲小路、和田の各次官、荒井主計局長、山之內鐵道局長、倉知外務省參事官、野村遞信技師(其他陸軍工兵大佐以下數名)、農商務技師、遞信技師、關東總督府技師)貴族院議員曾我子、三嶋子、堀田子、衆議院議員元田肇、大岡育造、野田卯太郎、栗原亮一、箕浦勝人、大石正巳、佐々友房、井上角五郎、奥田義人諸氏並に實業界には澁澤男、近藤廉平、高橋新吉、高橋是清、早川千吉郎、藤田傳三郎、奥田正香、園田孝吉、原六郎、牛塲卓造、仙石貢、片岡直溫諸氏

●滿韓旅行學生の先發 滿洲旅行學生の陸軍御用船便乘の件愈々許可されたるにつき鹿兒島造士館生徒白名東京高等師範學校生徒約五百名東京府立師範學校同學校最上級生徒約三百名は七月十五日又は十九日に出發することに決定せしよしなるか無賃便乘は宇品以後なれとも文部省は目下遞信省に交涉中なれは團体を造りて乘車する時は滊車賃金を半減せしむへく私設鐵道會社には學校より交涉する時はそれゞゝ割引をなすへしと

●關東都督副官 關東總督府新官制は都督、民政長官、參謀長、局長、陸軍幕僚(海軍幕僚は無し)等を置くへく現任者の外には陸軍省恩賞課の茂原大尉は都督副官に內補せられたりと

●米國移住の露人 去月二十七日露國人四十名米國に移住する目的を以て橫濱に寄航せるものなるか彼等の語る所に據れは露國は何時革命起らんも測り難き狀態にあり各都府にては革命党員は各黑面を被りて集會所に來り革命派の爲め資金を募集しつゝありと

●露國の日本靴採用 露國陸軍省は從來露兵の穿てる長靴を不便なりとし試みに日本式短靴を步兵に穿たしめし結果良好なれは各兵科一般に採用すへしと

●大連通信

七月五日 刀水生

▲三井と綿布綿糸 本年一月以來今日迄三井物產の手により輸入され滿洲內地へ大連停車場より搬出せられたる綿糸綿布は總額百五十万圓なりといふ

▲官煙專賣所 官煙專賣所とは滿洲官煙の一手販賣店たる代々木公司と江副洋行との組合に係る新店舖の名稱なるが既に大連の如きは去月十一日より合併的行動を開始したるも今尙代々木と江副との二枚看板を掲けて營業しつゝありこれ兩支店各々殘務あるによるなるべし不日大連は官煙大連專賣所營口は官煙營口專賣所と名稱さるゝ至いたるべきか鐵嶺安東縣又同名稱に而して遼陽及び奉天は出張所格として遼陽は營口、奉天は鐵嶺に隷屬することゝなりたり而して同店合併の結果各支店組織に關しては店長及會計主任を兩店より拔擢之れに任することゝなれり其配屬左の如し

	店長(主事と稱す)	會計主任
大連	三好程次郎(代々木出)	富永士用助(代々木出)
營口	淸水友三郎(代々木出)	杉山兎毛(江副出)
鐵嶺	吉原弟三郎(江副出)	指田茂三龍(代々木出)
安東縣	松田義一(江副出)	未定

店長會計主任孰れも其人を得たり予輩は些の遺憾を見ずと雖も昨今外煙の時を得顏に壯んに對抗なさんず畫策するの秋に際し最も政府當局間に注意を促さんとするは原料の精選にあり販賣法如何に宜しきを得たりと雖も肝心の現物にして劣等ならんには豈能く永く勝を制する事を得んや

▲關東州の漁業 關東州に於ける邦人の產業として第一に置くべきを漁業なりとす目今大連水產組合に加入しつゝある漁船數二百八十八隻漁夫千五百五十二名是等は多く延繩漁にして四月より十一月迄の漁期に於て一人の收益二百五十圓と算せらる實に此延繩漁(多くは鯛なり)の合計收益は三十八万九千圓なり此出の漁船縣別は熊本縣九十隻此漁夫三百九十一、愛媛縣十二隻二百八十八人、福岡縣三十九隻白二十六人、廣島縣十六隻六十八人、香川縣十五隻七十五人、兵庫縣十二隻四十六人、大分縣十隻五十四人、岡山縣八隻三十一人、長崎縣八隻三十五人、佐賀縣八艘一十二人、山口縣五艘十五人、愛知縣五艘五人、和歌山縣一艘五人等也而かも此外に桝網の許可されたる其漁區五十八個所あり昨今に於ける一漁區に對する此桝網の收益一千圓合計一個月五万圓八個月間四十万圓なり之れに旅順の漁業收益等を合すれば一個年百万圓に上るべき也而かも將來大いに有望なる實に今日の五倍大に漁區の擴張さるべき見込なきにあらず即ち現下の漁區は大連港老虎灘より旅順大連港より貔子窩に到る一漁區長山列島等の四區に過ぎざるも尙更らに漁民の多く來る計畫するの時に於ては渤海に面する金州方面熊岳方面旅順より芝罘に到る線區廟島列島方面等あり是等にして遺憾なく漁業の設備具はるの時は實に當滿洲に販路を普く擴張するに留まらずして遠く內地に却つて輸出すべき產物の[illegible]るものなりと數へらるゝに至るべきか

●獨乙皇孫の御降誕 獨乙國皇太子フリードリッヒウイルヘルム殿下の妃殿下は一昨日皇子を御出產あり御母子殿下共至極御壯健に渡らせらるゝ旨當港停船軍艦チーゲル號へ電報ありたりといふ

●總督府管下の爲替貯金 關東總督府管下に於て去る五月中各郵便局か取扱ひたる軍事普通爲替幷に貯金額左の如し(圓位以下略す)

軍事爲替 二十六萬九千四百八十一圓
普通爲替 三十六萬四千五百八十三圓
貯金 十萬五千九百五十七圓

●林公使招待會と出發 昨日當地日本人側の主なる人々の催しにて滯在中の林公使を青堆子の春帆樓に招待し午後五時より歡迎の宴を開き八時三十分頃同宴席より出發再び北上せり

●モリソン博士の北上 曩きに新民屯に於ける鐵道橋を視察し歸へりたるタイムス通信員モリソン博士は昨朝南滿洲鐵道によりて滿洲內地視察の途に上ぼれりと云ふ

●副領事の昇任 當地駐剳の英國副領事フイツクス氏は此度福州の英國領事に昇任し來る九日當地を出發し赴任の豫定にて 昨日マンチユリアハウスにて盛大なる送別會を催ふしたりと云ふ

●獨艦長の招待會 獨艦チーゲル號艦長少佐フオンアベツケン氏は昨日午後一時より同艦に與倉軍政官を招待し午餐會を催ふしたりと云ふ

●本願寺の日曜說敎 當地本願寺出張所に於ては定例に依り本日午後一時及び八時半(營口時間)の兩回に於て日曜說敎を開き慧燈大師製作の領解文に就て寺本布敎師より說敎ある由なり

●チーゲル號を訪ふ(つゞき)

アベツケン君の熱心なる態度は予をして遂に柄にもなき刀劍論を擔ぎ出さしめたり、予は先つウロ覺へに予か記臆に殘れる我國刀劍發達の歷史を說き而して後ちに故別役少將の刀劍鑑定法を其儘に三腰の劍を逐一巨細に最も仔細らしく鑑査して大膽なる批評をやれり、アベツケン君は甚た感服したるか如き樣子にて尙は何事をか語り出てん模樣あり、元來刀劍の智識に於て頗る平凡なる予は爭てか是れ以上に大膽なるを得んや、凡そ天下最も大膽なるもの盲目に如くはなし、予か刀劍の鑑識亦た全く盲目ならさる以上到底大に刀劍を論するの權利なし、此に於いて予はアベツケン君か何事をか語り出でんとする樣子を熟知しなから交際上當然の禮讓を蹂躙しても尙は且つ予自身を保護せさるへからす、即はち中に就いて最も良き一振りを拔き放ち、如何、鑑長予は信す君か此の一刀を提けて艦橋に立つとき君が獨乙魂はいやが上に向上し其の颯爽たる英姿を煤煙濛々の間に望むとき何人か獨乙帝國萬歲を絕叫せさるものあらんや、と讚歎一番せしにアベツケン君中心の歡喜禁する能はさるもの〻如く滿面の相好を崩し手を伸へて予か手を碎けよとばかりに握りしめ、多謝す君よ予は獨乙武士なり刀劍は吾人の生命にして刀劍は吾人の名譽を表彰す予は君か贊する此の一刀を橫へて常に獨乙帝國を杆護せん、と言々肺腑より出て予をして思はす熱心なる敬意を表せしめたり、於戲カイゼル陛下は實によき臣下を有し玉へるものかな、かくて予は艦長に乞ふて艦內を巡視したり、艦長及副長は案內の勞を執れり、予は夙に獨乙陸軍の精整天下無比なるとを聞けり而して今此の一小砲艦の艦內全部を見るに迨んで、獨乙海軍の整頓して復た頗る精銳のものなるを知れり、何となれは艦內武器の手入れ行屆き其の配置の整然たるは固より一兵卒と雖もだらしなき姿勢に在りしものを見さりければなり、老ひぼれたる一小砲艦の武器の必ずしも天下最優のものたらさるへきは云ふまでもなし、其の艦型其の裝甲一つとして威服するに絕へたるはなし、而も其の時代後れの艦型裝甲にある本艦 塔乘したる以上武器の配置に工夫を凝らし手入れか夫に一の遺漏なく周到の注意を用ゐ、而して各兵何れも赳々たる武夫の心得を轉沛の間に忘るゝことなく艦長副長の巡視するあれはとて其の持場に立ちて其の任務を遂行するに、聊かも傍目をふらず遠慮するところなく而して常に上官に對して最上の敬禮を拂ふことを怠らさる、眞に最も規律ある軍隊ならすと云ふを得んや、予は艦內に於ける獨乙水兵の心得と動作とに甚た感服せり、無暗に感服して予か艦長と副長と而して甲板士官と共に中甲板に立ちしとき、遼水を拂ふて迫まる大陸の暮色は蒼然として漸く四邊の景物を包まんとす、白狀すれは予はかゝる規律ある艦內には一分時も長く止まり而して精細の觀察をなして更らに而して大に其の兵員と共に打ち語らんとを希望せり、而も艦の規則は此の如きを許さす、即はち名殘り惜しけに別を告けて舷梯を下りサンパンに移りて艦上を見上けしとき、艦長以下舷門の哨兵も共に予に向つて擧手と棒銃との敬禮を行へるを見たり、予は直ちに脫帽して之れに應へ逆揚たるサンパン水夫が濟棹の一轉每に彼のいみぢきつはもの共に遠かりぬ(まさ)

●銷夏錄

●東京の文藝界(一) 鐵城生

鐵城生は在京社友某氏の別號なり頃者遙に此稿を寄せ來る東都文藝界の近狀を悉くすと最も到れるを覺ゆ乃ち收めて『銷夏錄』中に掲げ以て讀者の粲を博す

▲此頃は何うも人心が萎微して居る樣だ。世を擧げて滔々として濁れりとか、今や世は澆季になれりとか言ふ事は、能く出る文句であるが、然し某相の訓令や黃口の青年輩の文章にある如く爾く輕々しく言へる者ではないと思ふ。然し人心の萎微は痛切に感ぜられる事實である。是には色々複雜なる原因があるだらう。日本は是からと言ふ所だ。今萎けて居つては何にもならぬ。大に活動す可きである。活動と言ふのは燒打事件の如き騷ぎを意味するのではない。自信あり主張ある活動である。當世流行の女々しい泣言や、乙に悟つた樣な醉生夢死主義は極力排斥せざるを得ぬ、

▲文藝界も其影響を受けたのか、頗る泰平無事である、否頗る陰氣である。新刊物は續々出るけれど大抵は片々たる者に過ぎない。雜誌には相變らず一夜漬けの傑作が滿載されてある。然し何處にか一味沈痛眞摯なる氣風が認められぬでもない。一般民衆の趣味は昔よりは稍進步した樣にも思へる。それが證據には弦齋の食道樂の如き劣等なる作物は。相變らず賣行は宜く俗衆はやんやと云つて居るが、文藝の範圍よりはとつくに放逐されて了つて居る。

▲先づ小說界から言ふと、露伴は何と言つても重鎭と言ふ株で、其文章は時流を拔いて居る。然し露伴老いたりとの非難は到底免かれぬ。「天打つ浪」の二卷は此間出版された。其完成を見るのは何時の事やら。柳浪も具眼者からは大に望を囑されて居た作家だが、此頃は根ツから映えない。然し此間出した「女浪男浪」は流石に老巧だといふ噂である。鏡花の才筆は一時パツと花を咲かせたが、今の儘では進境は頗る覺束ない。畢竟するに大なる思想に乏しいからだ。

▲今や其勢旭日の昇るが如く、將に大家の壘に肉迫しつゝあるのは小杉天外と小栗風葉とである。而も同じ讀賣新聞紙上に天外は「コブシ」、風葉は「青春」を掲載して櫻梅色を競ふが如き觀を呈して居るのは頗る面白い。共に明治の小說史を飾る可き大作であらう。「コブシ」は意氣剛健にして而も風采の好い一青年を主人公として居るが、其舞臺は甚廣い文章も余程苦心して居る樣で、讀者は常に明朝を待ち焦がれて居る。作家たる者亦欽す可き哉である。

●目睹耳聞 ヘンリーモーアといへる學者は所謂幽靈なるものが嘗て無く現に無く永遠に之れ無しとせられつゝ然も何れの國にも噂せられ且つ恐怖せらるゝと實に最大不可思議なりとコボしてゐるが蓋し御當人は幽靈存在論者であるらしいテ▲如何に何處の國にも噂が絕えないにしたところが實際無いものは究竟無いので生捕にして淺草の珍世界にでも陳列しない以上は俗受のする議論は到底成立しないのぢや▲近頃內地の用無連はヤレ見神の自覺で候の幻覺で候のと麥熟しのヂー〳〵蟬が鳴くように矢釜敷騷きたてゝ居るがモーア先生の言ひ草ではないが實に最大不可思議位な譯のものさ▲信心家が御神躰を見たり喝仰者が生如來を拜がんたりする位は精神界に有り勝のことで病人の譫言でも聽くと思へはそれで濟むことぢやイヤ是非共それで濟まさなければならぬのぢや▲ソコラになると懷疑學者のデカールトなどは濟したものぢや夢中の事の甚だ明らかにして遂に假空たるを免かれさるが如く、感覺から來る者も智力に屬するものも疑はんとすれば盡く疑ふを得べし二が四でも圓は方ならずといふも其疑や除き難しと要するに無いものを有ると謂ふても有るものを無いと云ふても同じく疑問ぢやテ▲人間の推理力に際限のある間が詩人や宗敎家の活動する時代である佛國の大政事家ミラボーが不可能なる語を使用する勿れと喝破して人を驚かしたがソレはほんの形而下のことで形而上のことは宇宙間の森羅萬象悉く不可能であるてふことを悟つて初めて話せる人間なのぢや(來生)

日報俳壇 野梅選

課題集句選 其一

○銃劍を捨てゝ身輕の單衣かな 旭山
檣を數ひて見たりなつの月 同
●蒼蠅やよみ入れば愛魚市口 同
●夏の月星うるはしう思ひけり 白孤
蝿たゝき力あまりて手のいたき 同
はしてから着る氣になりし單衣哉 馬生
●夏の月蝙蝠の風情見つけたり 涙洋
なつの月いつしか蟬の聲斷て 芝舟
ブリツチに我影ひとつ夏の月 千曲
●行きくれて彳む野邊やなつの月 同
○けむりなき煙突たかしなつの月 同
いつかもう暮はてゝあり夏の月 同

營口地方天氣豫報 自七月五日午後六時 至六月六日午後六時 天

會席
歐米各國最新流行形 電話
和洋諸雜貨食料品卸小賣 奉天小南門ノ後 中越洋行

村時雨

栗原小獅

芹生の里に彷彿たる都に近き片山家、詫住居にはあらねども、貧すりや鈍する世の習ひ、半風子(虱)の音に似通へる村夫子よと唄はれつゝ、小供あつめてよみかきの世話をやくだに今はうし。

『つく〴〵熟ら〳〵惟んみるに、僕くらゐ薄倖者は又と一人とあるまい、世に云ふ位牌兒とやらで父なる人には胎内に在るとき死別れ、養育の恩山よりも高く海よりも深きわが母刀自は去年の春身沒り玉ひて、僅た一人の姉上さへ北米テキサスの片邊りに彷徨ひ玉ひぬるてふことを風の便りに聞きしのみで今ではその生死さへ確實ならず、雄心勃々たる可惜壯者も草深き生れ故郷に朽ち果つべきの處を、纎弱き姉の手に縋りて一たびは帝都の地をも踏むを得て、多大の抱負と希望とに充されたも、一炊の夢と消え失せて、一年經つか經たぬ間に又もや都を迷ひ出で、故郷より一層鄙ぶりのこの村里の小學教員噫止みなん〳〵』

片山里の夕ざれは門田の稻葉をとづれて蘆の丸屋に惜氣もなう万斛の凉風を齎らすので、肉躰のスガ〳〵しさ言はん方なけれど、彼の壯佼が精神の煩悶を拂ふべきよすがもなし。

『先生樣、姉御樣とかゞ入來しやいましたゞヨ此方へ通しますべえか』

夢かと疑ふ間もなく倒つ轉びつ女躰を投げ込みしは擬ふ方なき姉なる仁にて聲も涙におろ〳〵と。

『トヽヽヽ俊ちやん堪恐して頂戴よ、お前を斯樣な酷ひ目に遭して……嘸かし惜い姉やとお思であらうね、妾もネアノ人は同郷者でもあるし、北米で辛抱さへすればお前の學資位は容易く出來るとの甘言にツイ騙されて伴れて往かれたが身の過りでした、學資どころではなくおさん同樣にコキ使役はれて、お負に肉躰まで褻されてしまつて結局の果が日本に放逐せられて還つて來たのですよ實はお前に顏を合すも面目ないのだか逢いたうて〳〵詮方がないものだから尋ねて參りました、……移民會社の人達は皆な人喰鬼ばかりですよ』說き去り說き來つて弟の膝へと打伏しつゝヨヽと泣き咽べり

弟なる壯者も相抱いて暫し涙に咽れけるが忽ち猛然として身を起しつゝ。

『姉さん！僕はもー箇樣な不祥な言を聽きたくありません、僕は只姉さんの無事なお顏を見たのが何よりの滿足であります、久し振で御一緒に神樣にお祈りを捧げませう、サア早くお起なさい』と姉なる人を勵ましつゝ机の上なる聖書を繙きつゝ。

神よ願はくは汝の從僕に宜ひたる聖言に從ひて汝の仁慈をわが安慰となし給へアーメン。

忽ち天外聲あり、

汝等の不幸を悲む勿れ汝等の境遇に對して不平を抱く勿れ神は汝の不幸悲運を喜ぶものに非らず仁慈限りなき彼れは愛憐の眼を以て汝等の不幸を注視しつゝあり、神は汝の狀態を哀憐して而も汝を逆境に立たしむるは則ち汝に偉大なる光榮と幸福とを與ふるの準備なりと知るべし、試に思へ彼の順境に身を處し富貴を極めて意氣揚々たる者も轗軻不遇の汝も皆等しく神の赤子なり神豈彼れに厚くして獨り汝に薄きの理あらんや、順境に居るものが一方に得る處あるは則ち他方に失ふ所ある所以にして汝が一方に失ふ所あるは則ち他方に得る所ある所以なり、汝等姉弟乞ふ汝等の運命を神に一任せよ……。

雜報

●一昨夜の活動寫眞會　豫記の如く當地佛敎婦人會の主催に係る活動寫眞會は一昨六日午後八時よりアツセンブリーホールに於て開會せられたり寺本布敎使先づ起て開會の辭を陳べ尋で直に活動寫眞の幻影に移る或は滑稽頤を解くもの或は美觀目を娯ましむるもの或は壯絶快哉を叫ばしむるもの愈ゝ出てゝ愈ゝ奇愈ゝ新其間乃ち挾むに蓄音器を以てし目と耳と二つながら淸凉を覺ゆ况んや幻影の都度一々附するに說明を以てす其婦女童幼の因て以て智識を得る所決して尠少ならずと云べし定刻參會者已に場に滿ち佛敎婦人會員の外在留邦男子及び淸國人外國人の多數を見たるは趣味の索莫たる●口なれば也十一時頃散會

●髮切女保護を願出づ　賤婦の淺ましさとはいへ男地獄に振られたが悲しさ尼となつて齒も附纏とは能々因果な姬誤前にあらぬ尼誤前なり、未だ讀者の耳底に殘りし例の壯俳ォ亂痴氣の誤本尊髮切園八は其後彼等仲間の連中が仲裁に依り大連より來りしお多福は何處家へ仲居奉公に住み込ませる契約を結び園八は愈々女房然と其稼ぎする事となりたる悲しや尼の事とて從前の如く客座に待べる譯にも行かず止むを得ず楽屋にて衣裳方を手傳ひ先づ〳〵安心と過し居りしが扨て斯くなればお多福の褄いつかな承知せず今度は反對にゴタ〳〵角を引つ立ての大亂痴氣に薫も今は殆ど策に窮して亂暴にも髮切尼を打つ毆るの大騷動に尼先生堪へ切れず終に其筋へ跣足の儘驅け込みて一伃一什の話をなして保護を願出だりとは薫の土根性何處までも男地獄は去らざるにや

●女郎財産調を受く　男地獄の罠に罹かりし萬月樓のおユウ、おキクの兩女郎は去る五日の本紙を見て大に驚き思案投げ首內々寄台ふて相談中逸早くも樓主靑木か又も本紙を讀みて一方ならぬ立腹なし直々樣おユウおキクを一間に呼び寄せ其不心得を說きて將來を戒め尙兩人の衣類其他小道具に至る迄取調べたる上壯俳の當地に滯在中は兩人の所有物殘らず總て樓主が保管する事となり尙又お灸として外出を一切嚴禁し每夕風呂屋へ行くも人を附けて嚴重に取締りをなし居る由扨ては猪喰ふた報の毛蟲かや

●命を拾つた幸運兒　元神廟街河野藤吉永世街小杉金治紀定門街川畑喜次郎の三名は一昨六日商用の爲め打ち連れ牛家屯に至り午後八時頃歸途舢舨に乘じ海岸牛莊亭前に繫留せんとする一刹那折惡しく急流の爲め櫓の自由を失ひ押し流され碇舶中の汽船の錨綱に觸れて轉覆し前記三名の外船夫二人都合五人の者海中に陷りたるも河野小杉及び船夫二名は幸ふじて他の舢舨に援助せられたりしが川畑は下流一丁半計り流され最早死に瀕せんとする所を菊洋行汽船春日丸乘組員港由太郎之を認め直ちに海中に飛込みて漸く援ひ上げたりと云ふ

投書かご

▲郵便局は規定の執務時間中でも小休みがあるのですか書留係閣下に問ふ（困つ太）▲正隆銀行に尋ねます不動產抵當貸附金の委托者ありますかあれば貸出を申込ます（希望生）▲此間の投書籠にリヨの筆誅が出て居りましたがアレはリヨに振られた助平連と見た又夫れともおふじの色男で今度內地へ同船誤夫婦の逃け仕度をして居る大工なら左官が缺の上塗りする頓痴氣奴と知られたり何卒朴捻先生慧眼をもつて此奴等二人りの身の上を筆誅して下ださい（反對生）▲李俊の四番目の弟李義と云ふ奴は實に不埒な男なり後藤ミウラと云ふ女を今年の初めから妾となし今日に至るまで一文も與へず尙薄情にも此頃厭氣になつたとてトウ〳〵火神廟の某料理店へ賣飛したげな（ミウラ党）▲今度新に開業した常盤温泉は新築で体裁も一寸好いが水の汚なきには閉口仕る早く改良せんと澤山な金を懸けてやつても鶴の湯に客は皆な行きますぞ（注意生）▲日新三面記者足下、足下に壯俳連中が筆誅せられたのを意恨に持ち暗み打をすると計畫して居りますぞ御注意あれ（盜聞生）▲小癪な奴原暗み打でも何でもやるがよい馬脚の一人りや二人りは面倒だ何百ダースでも束になつて來れ（三面子）▲本社山田宛に卷紙にて長〳〵しき十五六間もある平假名の投書が來ましたが仲々讀み廻したれど充分意味通せず其儘に預り置き候間改めて判り易く今一書を願いたい（本欄係）

頭陀袋

法師が一寸書策の間に朴捻老が盆禮の手廻しをして姐さん達に暑中見舞を贈つたとのこと年寄だけに親切のほど每度ながら感服仕るそれに就て何か御返禮をせずばなるまいと目下額を鳩めて協議中か否かは知らねが或る人々のためよいさ代つて横から誤挨拶とぞ見る朴捻が紀念にもとて念入りの贈り物をば無念朴捻が詛念をえれ一贈り物曰く因緣知て殘念

廣告　告示

七月四日第八回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし

二、當籤者は七月十五日迄に衞生局に到り當籤札を引替へ賞金受領す可し若し此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す

三、當籤金額

一等銀五十圓　二等銀拾圓

三等銀二圓　四等銀一圓

譯文

七月四日第八回鼠拈鬮施行而左開得彩號目自示之後十日即七月十五日以內其得彩者各携原領執照往赴衞生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票爲歸癈棄爲此特示

一、定爲

頭等銀五十圓　二等銀拾圓

三等銀二圓　四等銀一圓

第八回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

二二二　一二一一一　一
一八〇一二六八一〇九〇六八六三一
三四四五九五四二八八八一八一八五
二三五九四九一〇一二二三五一〇　九

二二一一一一一二二　一二　　二二
〇三五五八五〇七六八八七　　七二
三五七〇〇二六〇四九二四三二四九
一二〇二三三二七七九三八九七二三

二一　一　一二　　一一一二一二
七一六〇五三六一五五一一六一三八
七五一一六六三五九一七七八八九九
七四四一二一一八〇五六九二二七〇

一一二二　二一二二二　二一一
九二二一　七五七三一一三二二八
一四八〇二二六五三一三六四〇九一
二〇八三四六七九六一六五五二五五

一　二　二　一一　　一一
五五四九七　七八五五三一四　三八
八八七一一九〇一六四五一五八八六
五七一五八五四一四六四四三九一二

靴製造并に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ

桑田靴店

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備

滿洲第一湯崗溫泉

効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

營口——大石橋——海城——湯崗温泉（全停車場）——遼陽——奉天

一瀛船貨物運搬業

一浮船及瀨取請負業

右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候

營口南永世街第二市場ゟ西へ入る

遼河運輸　同濟公司

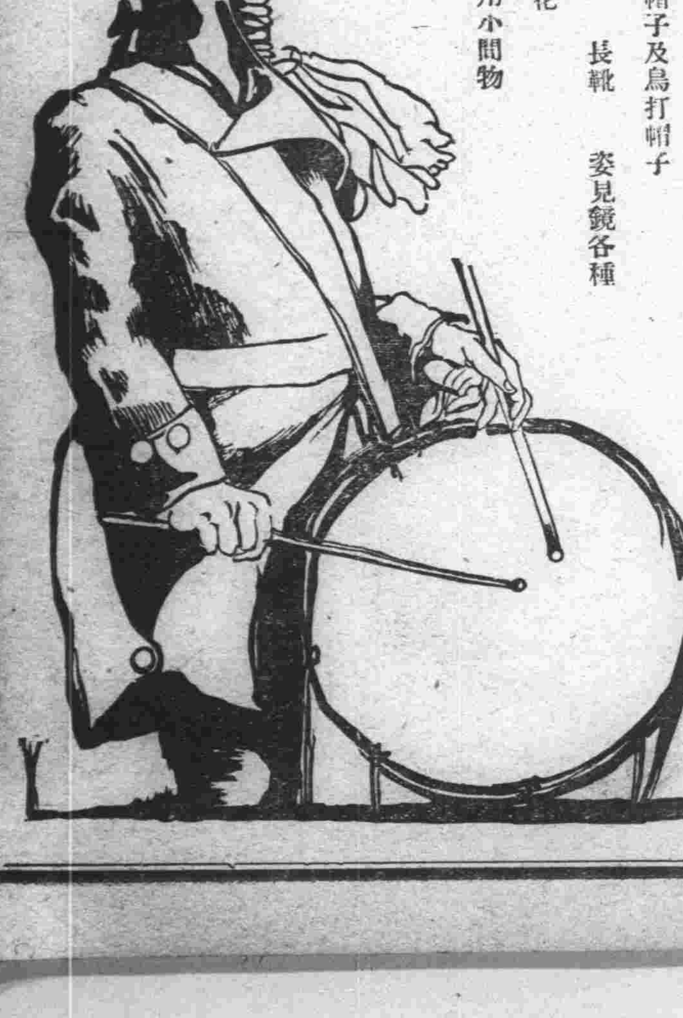
和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町

日本館（電話百三十）

各位樣



營口三友洋行雜貨部廣告

新荷着

高等化粧品各種　新柄子キタイ

旅行用鞄及靴　氣發油ランプ

新形夏帽子及鳥打帽子

雨合羽　長靴　姿見鏡各種

四季造花

御婦人用小間物

濟生八方製造發售廣告

啓者敝社長山田氏夙爲衞生起見詳査日淸韓人之体質博探東西古今之神秘研究多年始得左開八種之靈藥于玆同志相集豫備資金一十万元創立日華製藥合資會社即經官准現將本社開設於營口永世街甲一六六號精撰藥材留意製劑自造所發明之濟生八方克已從廉專向日淸韓各地方出售且卜要地設在分舖或寄售處以期衞生之治及而斯十劑以上則爲藥賣特行折價切盼中外貴客監其誠實無欺藥效亦異尋常陸續賜顧是荷

仁　爽快丸（芳香淸凉驅邪避瘟誠是常備之靈丸也　立消飮食之毒兼治口內即是食後之要劑也　忽去口內惡臭能美音聲最爲接客之佳品也）

義　腸胃散（健胃固腸速化飮食眞是天下之靈散也　縱雖多年難症服藥數次無謂未曾全癒　則爲小兒下蟲之特效藥其名嘖々于世）

禮　婦女散（不論各般常症並胎產諸患靈驗如神所謂婦人專用之妙散也　凡婦女已迄妙齡之後須備此藥常爲袖中之至寶）

智　鎭腦散（專鎭頭腦並和神經藥效顯著誠是未曾有之奇方也　快通大小二便以解秘結而和腹內最爲古今之良劑也）

忠　消熱丸（消散邪熱立使心身舒暢神效偉大眞是必携之靈丸也　縱雖危急熱性當其初期取用靈應不誤立以全治）

信　掃毒丸（專治楊梅瘡毒以及一切毒瘡葯力無比眞可驚之秘劑也　特有掃盡小兒胎毒瘡恰似霜風吹枯葉之奇効）

孝　淸明水（專治各般眼疾之靈水不論輕重一經用過立有靈驗盲者復明　能適一切耳患之神液不拘久暫一過點用奏效異常聾者再聽）

悌　瘡傷膏（專治瘡傷等身面諸疾之妙膏即一擦用應效立著痛癢忽止　又遇蜂蠍叮螫等諸虫毒宜將此膏擦敷患處疼痛立治毒氣悉散）

營口永世街甲一六六號

日華製藥合資會社　敬白

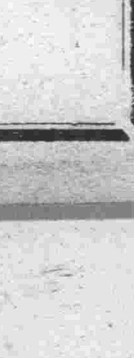
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半

温泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁

眺望絶佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上唯一樂園

五龍背温泉



當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ

効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、痳病等ニ特効アリ

七月三日より十五日まで
第二回夏ものの荷着大賣出し
從來の通りくじ付景品を呈す
永世街 (キ) 木村呉服店
(電話八十八番)

石材 石灰 大販賣
英治洋行
(營口西北街)
(電話三二)

營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道 遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋鑵詰、食器 內外煙草、葉卷 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醬油 酢、木炭、其外 色々
卸並に小賣
彩票 每月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
(石) 石光洋行
營口西北街
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着
裝飾用鏡 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々
手提金庫 コッピー用附屬品
窓掛及附屬品 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶
ワイシャツ及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿
關東公司雜貨部
(電話五號)

飲料好適
氷
田庄臺大盛貯氷公司 軍政署認可濟
發賣元
營口元神廟街成功號三階
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
(電話一三四)
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松本氷室

登錄商標
官准老牌

桂林(けいりん)
神効臭蟲藥粉
各國大博覽會名譽賞牌數個受領
另名驅除諸蟲藥粉
(藥價)每鑵洋一角
臨置者宜保置於乾燥無濕之處以防過濕氣
大日本始祖發售本舖
大阪伏見町堺筋東入 (電話東二四六六番)
清水桂林堂藥房
代售處
營口永世街 回天堂三本大藥房 (電話百九十番)
同 遼陽西街 足立大藥房
本堂鑒製神効蟲藥粉專驅除、臭蟲、乞蚤、虱子、紙蟲、蝎等一切毒蟲効驗頗異常眞希世之妙藥也即床榻、书棚、衣架等之處撒散所有毒蟲立皆斃死又有家畜如猫狗鳥類及各種毛皮毛絨等恐受蟲害者擦入此散於羽毛中若含蟲害死又將此散置入火中焚之蚊蟲蒼蠅等聞之或斃或逃矣然人吳食之毫無貽害眞居家旅行不可欠之神散也

廣告
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
高等麥酒スペシヤルライト
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店
營口元神廟街 關東公司雜貨部 (電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

自造 煉瓦◎瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

醇良日本酒
サツポロビール
大和洋雜貨 洋酒化粧品
販賣 酒類 食料品
孔雀印平野水
千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

開店一週年大賣出し
六月二十五日ヨリ七月十日マデ 正札一割引
東京新形浴衣地
吳服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類
永世街第二市場東
石原商店

御披露
小亭儀皆樣の御引立を蒙り日に増し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉強仕候小亭特色の安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりとも御望に應じ可申候間何卒倍舊の御引立の程伏て奉願上候
月 日
元神廟街 翁亭

淡谷木局
本號開設營口東靑堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檩子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知詳此廣告
東靑堆子橋南 淡谷木廠

營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社 營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又關外轉運(與大清通運公司連接)東清鐵道沿路險要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧務祈貨客親自到本棧房及各處分局棧房面議爲荷特謹白傳途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司書明按御地市價包補此

資本金參拾萬圓
日清合股

喜久洋行
啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在靑堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
開設永世街第二小鐵道市場路東
本行主人謹白
(電話一五二)

土木建築用諸木料
板硝子類
マツイド便利瓦
九州セメント
オールドスコツチウヰスキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外
志岐組
商業部

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科胃腸病
專門 日本醫院

牛莊松岡病院
內外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
全科醫士 松岡玄雄
元神廟街第百三十四號
(電話一五一番)

宮門抄

十二日

外務部 欽天監 侍衛處值日無引 見 成章因伊姪以外用謝 恩 道府李鴻弓等謝 恩 出使大臣瘾昌到京請 安 曾廣鑾假滿請 安 伊犁領隊大臣峻昌請 訓 分發江蘇試用道吳躍金謝 恩 安徽補用道陳師禮謝 恩 直隸試用知府彭世桐謝 恩 汪鳳梁何候 召見 色楞額續假五日 景恩德壽名請假十日

召見軍機

皇太后

皇上明日辦事後還宮 覲見畢至 頤和園駐蹕

外務部遞封奏二件 瘾昌遞封奏一件

上諭恭錄

五月十二日閣抄奉

旨廕生張元驥著內用繼馥著外用翰林院侍講員缺著文斌補授江西道監察御史員缺著葉帯棠補授山東道監察御史員缺著李春溥補授兵部漢字堂主事著瑜琦補授截取繁缺知府翰林院編修汪鳳梁著照例用余堃李哲明夏孫桐俱著以簡缺知府用王廷鉞著照例用刑部郎中孫文翰著以簡缺知府川截取裁缺國子監學正李式典著照例用保送分發知府刑部員外郎祁師曾著以知府分發省分補用擬補內閣中書沈觀宸著准其補授廕滿江蘇常州府知府德元著回任捐復前浙江平湖縣知縣金廷棟著准其捐復原官照例用分發直隸補用道李鴻扶安徽補用道陳師禮直隸試用道楊達張建勳江蘇試用道陳光淞李鴻幹吳躍金直隸試用知府彭世桐福建試用知府鄭勛江蘇補用同知方悅魯山東試用同知裴景元山西補用直隸州知州李如棠王恩國四川試用直隸州知州張遐齡山西補用知州左忠弟周襄四川試用知州殷有擻安徽補用通判時寶璜山東試用通判吳新春山西試用通判吳鍾源湖北試用通判樊希訓四川試用通判向遠源廣東試用通判蔡嵩樣廣西試用通判閔世榮兩淮試用鹽運判汪銘恩安徽試用直隸州州同黃宗澤江蘇補用知縣趙錄策山東補用知縣王汝漢江西補用知縣吳本焯湖南補用知縣江瀚四川補用知縣焦兆鴻江蘇試用知縣陳鳳鈞孫鼎陞王文炯黃際清程孝頤胡紹猶陳守杭俱著照例發往欽此

中外要聞

●英請辦保護不力之閩官 聞日前英駐京代理欽使接得駐廈門英領事電據實照會外部略云前在英人二名於廈門突被棍徒毆傷受傷甚重刻在英國醫院調治推原其故因有地方之責者保護不力之所致希貴部將保護不得力之地方官議處並照數賠償恤欵以全部交等語外部當即電咨閩浙總督與英領事妥爲商定想不久即見和平結局矣

●函述飽督回巴黎消息 聞越南華僑有函致京某顯要據云法中印度總督飽自考察滇省回越之後已將考察情形報告法政府聞法政府有調飽大臣回巴黎議商之消息現飽督正在預備起程之際想不外對待雲南問題也

●義親王出京期 聞義國親王謁見兩宮呈遞義皇聖容十四日出京赴津滯留一二日與袁督面晤然後附義國兵輪回國云

●核減川漢路軌價 川督擬向鄂廠訂購鉄軌因價昂而法商邀求包辦故川督電商鄂督核減價值一節已誌前報茲聞鄂廠已將鉄軌價切實核減電商部轉電錫督磋商聞川漢路先辦宜萬一段定購鉄軌約七十萬噸先擬價每噸七十兩現核減爲六十兩並開詳單咨川漢鐵路公司矣

●不准麪粉出口 有南方商人由滬電商部請允准麪粉出口以暢運輸聞商部覆電以麪粉係米穀一類例禁出口且現下南省米價昂貴飢民嗷嗷需賑孔殷所請允麪粉出口一節著不准行

●尤川增収優貢 川省錫督電奏爲川省報捐銀三十萬兩改獎給多取優貢額十三名一節已由政務處會議允准日內即將出奏矣

●補救銅元辦法 聞北京財政處及戶部接據周玉帥陳筱帥劉延帥會電云奉 號電以各省銅元若省照章普通限數匀鑄將至機力盡閒餘利全失擬酌定歸併辦法俾資調劑等因仰見集思廣益之盛意竊思歸併一策難處甚多廠屋固不能搬移即機器一拆一裝所費甚鉅若此省停鑄彼省冬鑄非疆吏所能決議以江蘇情形而論清江一廠或可暫停甯蘇兩廠可隨時酌限鑄數而不可停若合各省通籌盈絀似應歸部主持由部派員管理庶集數爲整機括緊湊不必歸併而自收歸併之效至各省原欠官商之成本應解練兵處之餉項與夫外省每月新政之開支前皆指望餘利應如何分成勻撥彼此相通鈞處鈞部全局在握即可酌量調劑雖此後餘利漸微亦惟有儘其所有以濟急需是否可行伏請裁奪至承詢是否別有補救良方馥等愧無方略不敢不畢其愚鈞處鈞部所以限制鑄數之意原爲錢多銀貴之故而其實非錢多之患乃壅積一隅不能普及之患何以言之初辦銅元各省原爲錢荒鑄成之後乃專運上海以致銀價翔貴今各省偏僻州縣少見銅元遠省竟未見銅元覆有鑒此弊是以上年奏請暫禁出省並准需用之省自行派員赴領嗣鈞處鈞部亦有此奏乃得實行數月以來此間銀價停頓未漲乃皖贛二省忽漲忽落有時反比江蘇更昂推求其故皆因市商隨時販運隨意漲落覆等遂有兌換局之設以官操其權而調劑之大要辦法有三一限制領銅元之數或某縣數萬枚某市數千枚擇其錢少之處由官遞運該處發商其不願領者不給二限制領銃元之人凡遠近商人到局求領者一概不發以免私運三限制發銃元之時每月只准數次並不准任意多運如此分別限制較之專限鑄數更覺有益將來察看如果銀價再漲即行減鑄或竟暫停鑄此係蘇省辦法道員劉世衍經手籌畫有效似各省亦可仿行若各本省銅元漸充而以此法漸推於不鑄銅元之省未嘗非濟錢荒之一法惟是治本之圖尤在訂金銀銅三幣畫一之制與夫鈔票銀行二事諒鈞處鈞部早已籌畫而銅礦以濬利源尤爲當務之急統乞採擇核奪施行

●咨送庫倫礦圖 聞庫倫辦事大臣延祉將該處礦產業經鑛師查勘明晰繪具圖說已於日前咨送商部備查矣

●戶部奏議覆直隸烟酒等稅辦法摺 奏爲遵 旨議奏事軍機處交出直隸總督袁世凱片奏直隸烟酒等稅請按原徵之制錢數目作爲定額或統行改爲徵銀變通辦理附片一件光緒三十二年四月十六日奉 硃批戶部議奏欽此欽遵抄交到部據原奏內稱奉 上諭直隸徵收烟酒等稅照現收之數派銀八十萬兩等因查烟酒等稅按照奏定章程每斤收制錢十六文按市價易銀報解近因行用銅圓銀價飛漲向之徵制錢一千一百文上下可易銀一兩自行用銅元徵銅元一千四五百文上下始能易銀一兩二十九年原收制錢九十萬千合銀八十萬兩目下即使徵足九十萬千照市價祇能易銀六十萬兩非徵收不能及額是易銀之價暗中減少臣悉心籌畫若變通辦理改按原徵九十萬千之錢數作爲定額否則統行改爲徵銀向之每斤收制錢十六文者改爲每斤收庫平足銀一分四釐等語臣等伏查本年二月間臣部覈覆直隸籌款局光緒二十九年分徵收烟酒稅捐收支案內行令查明查州縣有燒鍋幾座是何字號某號出酒若干斤徵銀若干兩如無部照行令赴部補領其烟葉一項據冊稱照章徵收究竟是照何項章程未據聲敘應令一併登覆至烟土之稅徵銀十萬二千餘兩查各省烟酒加稅未有將烟土混入其中者若將烟土混入烟酒稅內土膏統捐又從何辦理今冊內將烟土列入烟酒項下以圖湊成八十餘萬兩之數未免牽混應令將烟土稅銀即行剔出仍將烟酒兩稅籌足八十餘萬兩以符派定之數等因奏准行知在案茲據直隸總督袁世凱奏稱烟酒等稅每斤收制錢十六文二十九年徵制錢九十萬千實易銀八十萬兩是烟土一項分明不在烟酒稅內乃查該省二十九年冊報烟酒兩稅共收錢八十八萬八千七百餘千合銀七十六萬二千九百餘兩與此次該督所奏錢數並錢合銀數均不相符且將烟土混列其中湊成八十六萬餘兩之數似此辦理未能核實殊屬不合至臣部前議指查各節概未聲覆且於政務處會同臣部奏頒整頓銅元章程如何推行並該省市面銀錢漲落如何補救維持之處亦未議及但以行用銅圓銀價飛漲請將烟酒稅銀數定額或改爲錢數足額或改爲每斤收庫平足一分四釐奏請 飭部核議夫以目下銅圓跌落其易銀價不能比照二十九年自係實在情形該督所請變通辦理亦勢所不得不然惟該省冊報三十一年十二月分糧價內開每銀一兩合制錢一千三百文不等是二十九年以後三十一年以前所徵烟酒稅仍照舊章一律辦理至本年如何變通徵收之處應令該督按照臣部前議查明某州縣燒鍋幾座是何字號出酒若干銷數若干分晰造冊迅速送部以憑核定臣部正在繕摺具奏間現據該督咨覆前因查核此次覆文雖係逐條聲叙惟於燒鍋座數字號仍未造冊送部應由臣部另案核覆所有臣等遵議緣由理合恭摺具陳伏乞

雜報

●自由女打壞禮物 廣東佛梁某亦康家也於福德舖高巷稅屋而居生有一女年已及笄曾於幼時許字某甲爲妻已十數年於茲甲還以連年生意大遜從前家室之蹙姑亦置之腦後梁頻托人向甲 催甲以阮囊羞澁與願違遂以婉詞却之梁亦無可如何其女遂易笄而允絹遮革履出入自由豈料甲近日偶舖彩獲利千有餘金適於是日之期禮行大聘饌盒盈門梁氏女睹悉情形遂將品物諸筐即時毀爛其父梁某上前攔阻卒不干休一時戶外環觀途爲之塞駭女昂昂自若無人轉瞬之間直趨而出連日之內去如黃鶴一般查無踪跡其父惶急只得暗訪明偵尚未尋獲

●俄撤滿洲軍隊 俄國殘留滿洲軍隊除俟明年撤退之軍隊外一併撤退

●咨照邊備章程 聞吉林將軍達留守現以吉林三姓在省城之東北與俄伯力接壤乃吉江之門戶又爲松花牡丹兩江匯流東下之區迤東至烏蘇里河口綿長千數百里刻已擬定界址遠近鈌分繁簡並各正佐廉俸書役工食及多設捕盜兵額一切詳細章程咨照政務處矣

●英東南境水災 英國東南境異常大雨水漲一寸餘尖又於倫敦將鐵路淹沒商賈均閉市又茶國及報館水及其階刻有防火夫隊竭力於防水之事又於克羅伊倫地方倫敦地微震

●德美關稅問題 德美關稅問題因上院固執與德國訂約一事政府施設頗形棘手刻下總統羅斯福君爲定奪該問題起見竭力籌劃

●俄捕謀叛渠魁 俄國於彼得何普兵營有兵員謀叛現由官府將匪首緝捕又對於第一大隊已奪其護衛權

●俄政府之不安 俄國政府頗有不安之況

●俄定兵員從軍年限 俄國此次將兵員從軍年限已經定奪 一步隊及砲隊 以三年爲限 一其他各隊 以四年爲限 一水兵 以五年爲限

●日本政府允學生游歷 日本政府對於日本學生擬考察韓國及滿洲情形者特允其搭乘官輪前往遊歷

●俄國頒令戒嚴 俄國於南境各州縣頒佈軍令戒嚴兵備

●美富紳之命案 美國紐育富室波理索妝鑿工程師一案其妻索尚未被捕日前於獄中往訪其夫聞美國著名之大律師已訂立辦護一事

●埃及戕英員案 埃及人戕斃英員一案已將四人處以絞刑有六人處以笞刑外相克列君於議院申明不允英將士將該犯槍斃又關於笞刑一事正在考察法律之際

●德艦進港 昨於午後六點半鐘時有德國雙烟突之兵艦一艘進港碇於河之東流相傳約載兵士五百餘人并謂該艦甚迅專備郵送信函所需其來營港蓋藉游覽沿海形勝暫行進口停泊

●處置得宜 本埠轟於酬神演劇諸場除戲臺而外三面遍搭茶樓中間幾無隙地以致貧民苦力立觀之時頗形擁擠惟相沿成例亦無人禁阻其行昨於華歷五月十三日係 關聖帝君聖會歷有祀典演劇酬神於是衆茶樓主人等預以木杆芦席諸具密搭茶樓用待座客臨觀希圖獲利詎該等正在接杆搭蓆之際適該管之第四派遣所憲兵崎野君巡街瞥見詰問該等作此何爲彼答以賣茶云々崎野君大聲吒曰快々收拾移去您回川此遍列戲臺若環富民有錢飲茶觀戲可以隨心貧民無錢飲茶觀戲即須費力況富民日向茶園游玩幾時樂意觀戲幾時隨便而貧民年月不能觀戲際此會場有戲這觀戲地方又被你們茶樓遍佔窄狹的狠實在不成事體快々收拾拆移去乃俱如命埠民聞之皆心悅誠服咸頌該區憲兵處事至爲公正云云

●津郡水患近聞 現聞由天津來人云天津府所屬等處附近黃河支流通達御河之地方因連日陰的雨以致黃河之水忽然漲溢冲坍堤壩淹沒村莊數刻間南方各省水患時有所聞直省津郡又傳被水大約今歲年光難占大有云

料理 前南に入
永世街一四一（森病院三軒目）
但シ賣藥部ヘ隨時診察ニ應ス 尚以後吉林長春ハルビン地方ヘ御越シノ方有之上ハ聯カ御示談中上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ
中越大藥房

天氣豫報

南又は西ノ風

昨日の氣溫 最高溫度八十二度六 最低溫度六十七度一 昨年ヨリ

營口旅館料理店案内 いろは順

旅館 料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號(電話八四番)

料理 人船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 濱万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前(電話一八七番、四番) 店主 熊田雄次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街(電話一四五番) 店主 片山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一號) 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豐隆門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

第一いろは料理 第二いろは料理 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話 號)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側 温泉付大勉強キレーヲアイシと (電話 號)

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男(電話 號)

旅館 料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎(電話 號)

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の北側入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北 (電話二十五號)

旅館料理店 日章館 牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入 (電話 號)

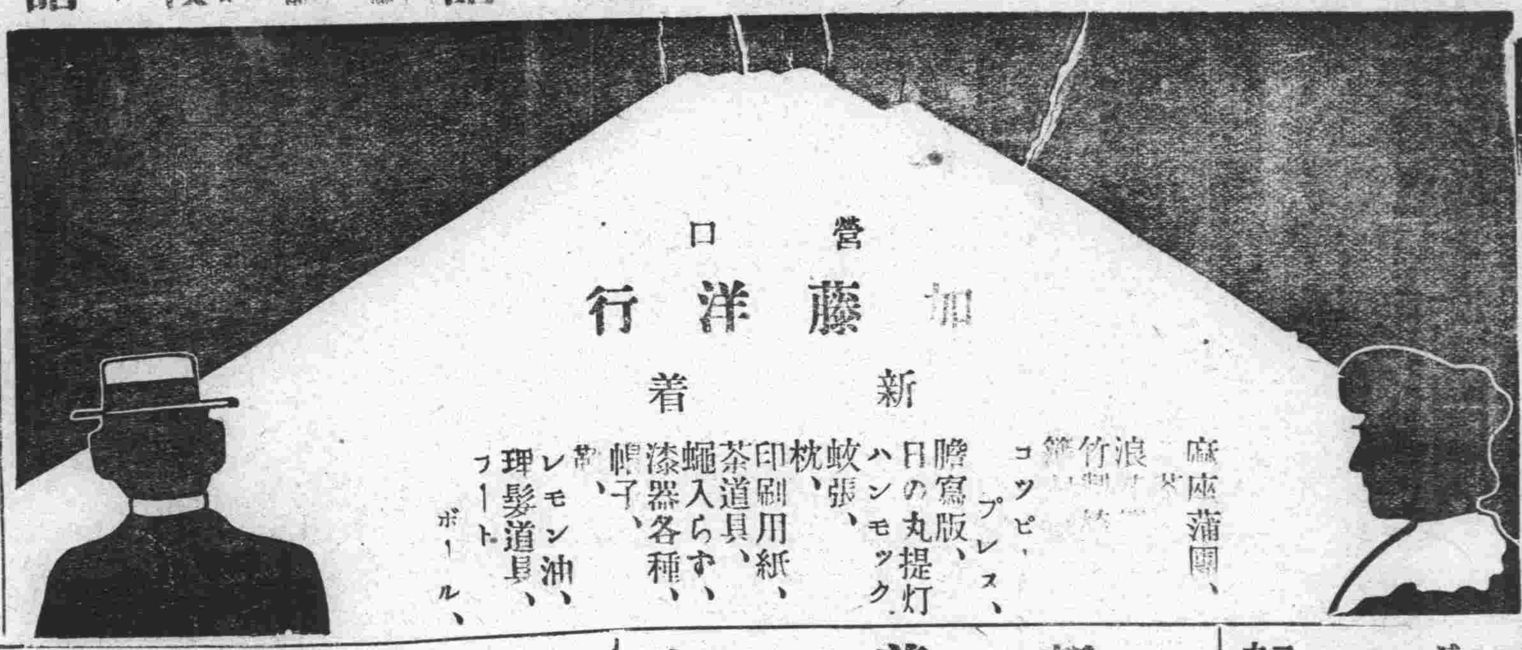
御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎

今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主として旅館を専業に單ら御客樣の御便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

御旅館 御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号



◎煉瓦販賣

上り窯ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町 高坂洋行煉瓦製造部 (電話九十番)

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話 號

御料理旅館 三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二樓造家屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉

輸出組合 日本官煙專賣處廣告

江副洋行及代々木煙公司の儀は從來合同營業として日本政府製造煙草一手販賣の特許を受け露領へ輸出致居候處今回之を擴張して輸出組合を組織するの認可を得更に滿洲地方の各營業をも合同致候上大連安東縣營口遼陽奉天鐵嶺の各地に日本官煙專賣處と稱するものを置き專ら華客の御便利を圖り誠實廉價を旨とし營業仕候間倍舊御引立被成下度奉願上候 敬白

兩切紙卷煙草

一ロングライフ 一リリー 一チエリー
一スター 一ゴールデンバット 一オリエント

口付紙卷煙草

一朝日 一大和
一敷島 一ほまれ

刻煙草

一福壽草 一白梅
一さつき 一あやめ
一はぎ 一もみぢ

代理店所在地

旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城

本號係代々木煙公司江副洋行兩號合辦。現開設在大連安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺等處。專售日本官造紙煙朝日(紅旭牌) 大和(雲花牌) 敷島(蓬島牌) 嫋嫋 捷利(櫻花牌) 隆佑來福(雙仙鶴牌) 利利(百合花牌) 禮(軍旗牌) 斯達(星象牌) 哥耳、巴(蝙蝠牌)等九種及煙絲福壽草、白梅、杜鵑花、菖蒲、胡枝、紅楓、等六種、蘭馨佳馥、不啻品色結佳。甚遂衞生。而價極廉。均已馳名。大方士商賜顧者。請光臨本號或經理面議可也。此仰

代理店所在地

旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城、

營口河岸通(舊代々木商會跡)

日本官煙營口專賣處

土木建築並ニ測量設計請負

營口青堆子綏定門外 志岐組

新着

YEBISU

金舛洋行 盛進商行

一週年の祝意 寫眞定價半減 木村寫眞館

當館愛に一週年之祝意を表する爲め可か面白き趣向を以て御得意樣の御愛顧に報し可申ヶ存じ就ては飾柄とて差控ゑ更に突飛ノ勉强をなし薄利にして勞力を惜まさるの考にて寫眞定價も半減となし艶麗にして巧妙なる寫眞を御寫し申上候間天氣の晴雨に不拘續々御來寫なし被下度候

七月五日より八月五日迄

二に兼て此の技に敏腕にして熟練なる村田寫眞師を招聘なし器械の豐富は申二不及館主一同協力嶄新なる技術を奮て御寫し申上候

御旅館 和洋御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城内鐘樓南大街 (電話十四番)

日清倶樂部 奉天城內大南門裡大街 (電話十五番)

麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫 氷 卸小賣所

御料理 支店 營口永世街 金城館 (電話八三)

旅館 支店 營口永世街 金城ホテル

御料理 支店 大連市吉野町 金城館

御旅館 支店 大連市吉野町 金城館

御披露

追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ新に江戸生粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感ぜらるゝと奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁あつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館 (電話十九)

奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル (電話一〇)

古料理 満月 平野町(電一六二) 満月支店 平野町入口 店主 青木勝恵

爲替相場 (七月七日)
日本向 百〇一圓七十五錢 (軍票百圓に付)
上海向 七十一兩二分ノ一 (同)
天津向 一百四圓十二錢五厘 (百弗に付)

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 一〆 七圓五十錢
一油皮紙 一帖(六十枚) 六十錢

一全 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一形袋 百枚 十三錢以上十八錢

室內裝品飾及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓

一疊 二圓六十錢以上三圓
一蒲椽 十枚 八圓
一麻緞通 一疊敷 三圓
一綿緞通 全 三圓五十錢
一由加多織 全 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.

Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙

廣告料 二十一字詰一行一回 銀二十仙